

東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1119号
2009年4月12日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

◆教役者レクイエム

4月15日(水) 10時半

主教座聖堂

説教

李 民洙司祭
▽主教時田誠▽司祭中島修▽司祭山口信太郎▽主教上田一良▽主教元田作之進▽伝道師ミス・ボイド▽主教ジョン・マキム▽司祭大藤鑄三郎▽司祭小林彦五郎▽執事八木立三▽主教大久保直彦▽伝道師鈴木しげ子▽司祭大野敏之▽伝道師齊藤伊佐子▽司祭落合吉之助▽司祭大木弘行▽司祭島田忠雄

◇堅信受領
4月5日 主教座聖堂
▽岩崎一▽島田淑子▽原維都子(聖アンデレ)▽今野瑞穂▽高岸裕喜子(三光)▽池田祐太▽溝井

ひかり(聖アグネス)▽鳥原正野▽清水常貴▽藤本洋平▽長谷川礼奈▽森恵太郎▽鈴木優美▽シーバー・アイザック優希(聖ルカ)

▽柴田早智子(聖三三)▽森山風(立教女学院)▽住友毅智▽角田寿瑞子▽江波戸夕香▽佐々木稚子(立教諸聖徒)

▽故大和田司祭の追悼礼拝
聖マーガレット教会による逝去50日記念聖餐式が4月18日

今週・来週の予定 4月12日～25日

- | | | |
|-------|-----------------------------------|-----------------------|
| 12(日) | 復活日
主教巡回
教会(牧師任命式) | 聖十字
協運管委 |
| 13(月) | 正義と平和 | 協運管委 |
| 14(火) | 銀座朝拝
IT~特別
山手G
教役者レクイエム | 委員会
協議会
(主教座) |
| 15(水) | 聖職養成委員会
主教座聖堂活動委 | 委員会 |
| 16(木) | 教財務サービス委員会
芝公園~特別委員会 | 委員会 |
| 17(金) | 復活節第2主日
財政委員会 | 主日
委員会 |
| 19(日) | 復活節第2主日
財政委員会 | 主日
委員会 |
| 20(月) | 教区協働委
礼拝音楽委員会
人権委員会 | 歓迎会
委員会
(聖バルナバ) |
| 21(火) | 教役者聖餐式
信仰と生活委員会
城南G
協運管委 | 委員会
協議会
(真光) |
| 22(水) | 教役者聖餐式 | 委員会 |
| 23(木) | 信仰と生活委員会 | 協議会 |
| 24(金) | 城南G
協運管委 | 協議会
(真光) |
| 25(土) | 主教巡回
聖マルコ教会 | 教会 |

(土) 15時から同教会で。説教
福沢道夫司祭。照会 ☎03(3)334) 2812。
▽横浜教区浦安伝道所イースター・コンサート(春のよろこび) 18日(土) 14時半、浦安市民プラザ Wave 101中ホール。出演||ピアノ|日高馨輔(東京教区退職執事)、女声コーラス||マードレ。無料。照会 ☎047(3)54) 2516。

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

教会は、イエス・キリストが死から復活されたことを信じる人々の共同体です。いや、イエス・キリストのご復活の証拠そのものです。ご復活が無ければ、教会は生まれなかったでしょうし、日々新たにされて、2千年にわたって今日まで、私たちひとりひとりに信仰のエネルギーを与え続けることは無かつたでしょう。

「ご復活に 出会った人々」

イエス・キリストという方が十字架の上で殺されてしまったことを悼みつつ、生前のその方の生き方と教えを尊び、なつかしむ人々のグループがあったとしても、それは教会ではなく、イエス・キリスト「友の会」に過ぎず、やがて消えてしまったでしょう。

主教 植田仁太郎

「イエス・キリストは死んで復活した」と、最初のクリスチャン達はイエス・キリストの全く新しいのちに触れ、出会った体験を語り合い、お互いに、それまで思いもよらなかった力とエネルギーを与えられたことに気付きました。イエス・キリストの十字架の死の後、恐らく2、30年の間は、人々は、その復活の主に触れ出会ったことを互いに語り合い、また周囲の人々に語り継ぐことを専らとしました。

2、30年経って初めて、パウロという人が現れてそのことを文字にして書き記しました(お墓の前の出来事やエマオへ向う道すがら起ったことが回想され、記述さ

れたのは、それよりずっと後のこととして、パウロは、それまで当然のこととして、最初のクリスチャン達が体験し語り合ったことを、書き記しただけです。「イエスが死んで復活された」と、わたしたちは信じています。」(テサロニケの信徒への手紙4:14)

「イエス・キリストは死んで復活した」と、最初のクリスチャン達はイエス・キリストの全く新しいのちに触れ、出会った体験を語り合い、お互いに、それまで思いもよらなかった力とエネルギーを与えられたことに気付きました。イエス・キリストの十字架の死の後、恐らく2、30年の間は、人々は、その復活の主に触れ出会ったことを互いに語り合い、また周囲の人々に語り継ぐことを専らとしました。

(東京教区主教)

正義と平和協議会運営

委員会報告 (3月23日)

*宣教主事報告(教区・管区催事を含む諸会議・催事等に関する報告)。

*世界聖公会平和大会(TOP I K・07年11月)宣言文に応えた管区の協働決議に対し、柳時京司祭から具体的に対北朝鮮人道支援事業(身近な支援として生活必需品の練炭を配布)の紹介と東京教区による取組みについて要請を受け、協議。オウルナムの会を母体として管区・大韓聖公会と協力して取組むことを確認。

*5月3日憲法記念日新聞意見広告への協賛参加(団体賛同一口4千円)を承認。

*正義と平和協議会便りの発行

企画(4月19日発刊予定)。

*浅草日曜給食活動の現状報告と活動支援態勢(継続審議)。
*その他。

▽学びと祈りの集い「パレスチナとイスラエルに平和をもとめて」 教区「エルサレム教区協働委員会」主催により4月26日(日)14時〜16時半、聖アンデレ教会聖堂で。サブタイトル「私たちの聖地で何が起こったのか? 現状は? この地の正義と平和は取り戻せるのか?」に、イスラエルとパレスチナから迎える2人の学者と司祭が迫る「3月15日号既報II教区内外から関心が寄せられている集会」。照会等は教区事務所宣教主事宛に。聴講無料。

《今、この教会では...》

東京聖テモテ教会

当教会は名建築ですが、その大屋根からの雨水は垂れ流し。昨年のゲリラ豪雨で聖堂はノアの箱船のように浮上かもと大恐怖。そこで、地下排水工事を。と、地中に井戸発見。「小判でも?」やがて「地震時、都心からの帰宅難民17万人のために災害時用トイレを。都のマップに載ると補助金も出るとか」で大ハッスル。司祭様のお話に「昔は教会が米を配ったのでライス・クリスチャンと呼ばれた」と伺い、「トイレ・クリスチャン増加かも」。しかし、井戸は大地の恵み、汲みあげる努力で水量が増す。今は奉仕と感謝の毎日です。
(吉田あこ)

【クローズアップ】10

教区会審議から①

月島聖公会将来計画検討

特別委員会総括報告

3月20日第108定期教区会で月島聖公会将来計画検討特別委員会報告が承認され、これを受けて、常置委員会から、第5号議案「月島聖公会底地取得および聖ルカ保育園を社会福祉法人「聖救主福祉会」に移管する件、第6号議案「月島聖公会・聖ルカ保育園将来計画準備室設置の件が、提出され可決承認されました。

本委員会は、07年の月島聖公会から常置委員会宛の底地権購入申し込みを受けて、第104定期教区会で設置が決められた委員会で、月島聖公会と聖ルカ保育園が建っている土地の底地権の取得方

法と、月島聖公会と聖ルカ保育園の今後のあり方について調査検討し報告・提案することが定められました。その後、本委員会が開催され、延べ21回の協議を経て、最終結論を教区会と常置委員会に提出する運びとなりました。また、その間の中間報告は、第106、107定期教区会に報告として提出いたしました。

現状は保育園の木造建物が老朽化し、耐震性がなく一刻も早く建て替えが必要なこと。また、教会の礼拝堂が保育園のホールと共用のため、日曜日しか使用できないこと。建替えには底地権を購入し所有権にする必要があるが、土地取得と建替えの費用の手当てが出来ていないことなど、単独教会では解決できない課題が山積しており

ました。

月島聖公会は1900年に佃島の伝道所開設以来、この地域との関わりを培ってきました。これまで関係した方々の想いをどのように活かし、今後の展開を図るか、月島聖公会と保育園スタッフの方々との意見交換も含め検討を重ねてきました。最終的に、教会は宗教法人として、保育園は社会福祉法人としてそれぞれ発展させ、かつ相互の連携により、かけがえない特色を与えてゆく選択を行いました。今後は、準備室で具体的な活動が継続されます。

月島地区で、更にみこころになった働きが継承されることを願ってやみません。

月島特別委員会委員長

井出大史